

東島旗争奪大会の反省

「第36回 東島旗争奪ジュニアバレーボール大会」は、大変お疲れ様でした。運営等ありがとうございました。会場チームの件や次年度役員等の課題もありますが、地区全員で協力していきましょう。

次回の監督会議は、12月下旬の「地区新人大会」についてです。日にちや場所等は後日にラインにてお知らせします。

1 運営について

- 監督会議の話合いではシードを優先することが決定したので、前大会、今大会のような抽選になりました。しかし、会場チームは、会場体育館にいた方がよいのではないかという意見もありました。(轟会場、嬉野会場)

→ 決勝トーナメントの上がり目を決めるかどうかで予選の割り振りに影響するので、どんな方法がよいのか考えていきましょう。

2 審判、補助員(得点係・ラインズマン)について

- 得点を逆に入れたり、ラインズマンがジャッジをしなかったりがありました。また、壁にもたれてジャッジするラインズマンもいたようです。(明倫会場)
- 得点係が得点を入れる時は、主審のシグナルを見てから入れる。得点係が自分で判断して得点を入れたことで、不具合が生じた。(明倫会場)

→ 毎大会、反省に出てきていますが、補助員のレベルアップを各チームでお願いします。

3 マナーや応援について

- 新型コロナ対策として、試合をしているチーム以外は、天気がよければ体育館から出る。(嬉野会場)
- コート外にボールが出た時に、すぐにボールを追いかけない場面が見られる。

→ この件に関しても前大会で反省が出ていました。基本的なことで、とても大切なことです。各チームで指導をお願いします。